

非破壊試験機

PRO Tester TR-75

アンカーボルト引抜荷重確認試験機

取扱説明書



適合サイズ

M6～M16

W1/4～W5/8



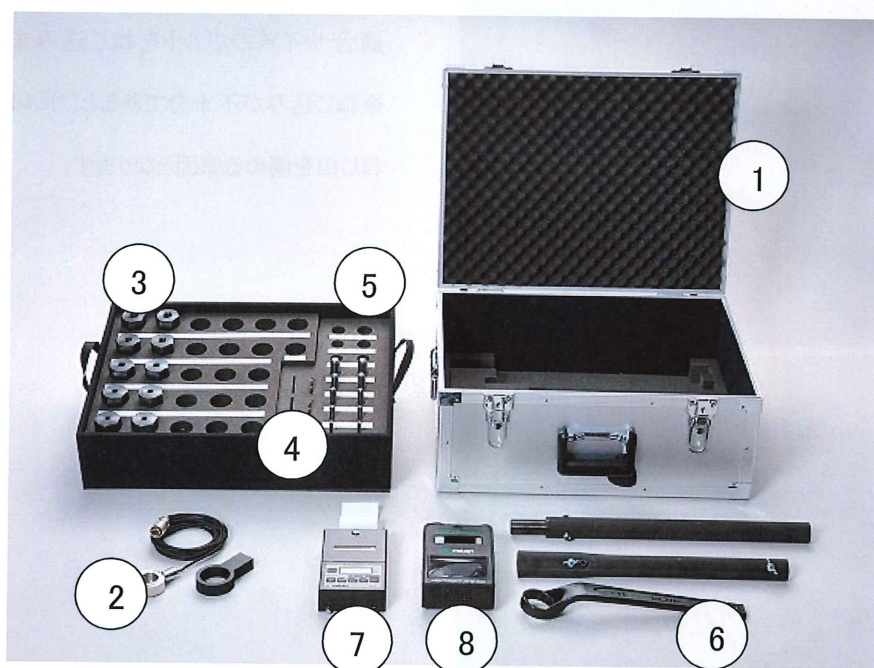
株式会社 トラスト

〒567-0029 大阪府茨木市五日市緑町5番32号
(TEL) 072-621-4164 (FAX) 072-621-4166

目 次

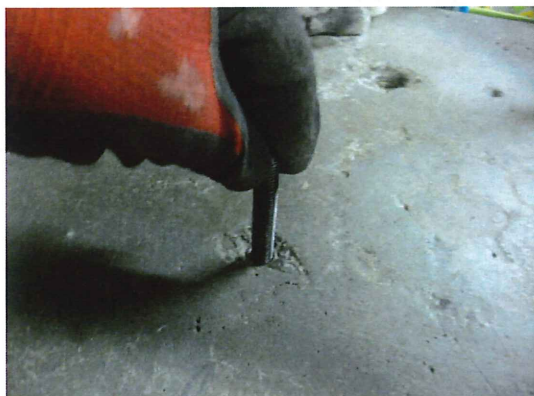
1,	各部名称		P-1
2,	組立手順		P-2~3
3,	操作手順		P-4~6
4,	注意事項		P-7

1, 各 部 名 称



- ① 専用ケース
- ② センターホール型荷重計 (TR-75)
- ③ 専用カプラ M6～M16、W1/4～W5/8
- ④ 専用ワッシャー
- ⑤ 寸切ボルト (M6～M16、W1/4～W5/8)
- ⑥ スパナ (36mm)、延長パイプ
- ⑦ デジタルプリンター付表示機
- ⑧ デジタルプリンター付表示機用ケース

2, 組立手順



- ① あと施工アンカーが内ネジの場合、
適合サイズのボルトをねじ込みます。
※ねじ込みが不十分であると、ボルト等の
ねじ山を傷める原因となります。



- ② 凸型座金を設置します。



- ③ 凸型の出っ張りに収まる様に
センターホール型荷重計を設置します。



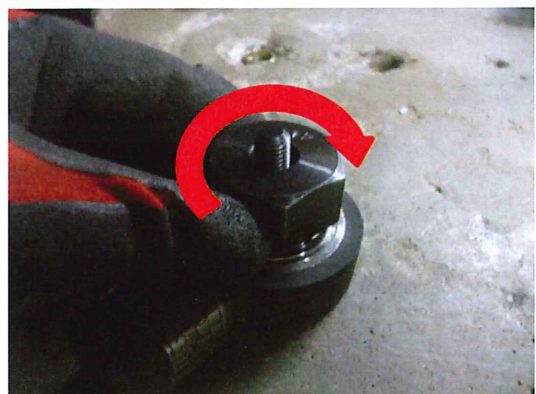
- ④ センターホール型荷重計の上にB座金
(厚い黒い座金)を上置いてください。



- ⑤ B座金の上にC座金を置いてください。
(わからないときは下の※に目を通して
ください)



- ※ B座金の上に置くのは表面の鈍色面
にしてください。鈍色面には滑り止め防止
があるため、銀色面を表でカプラを
設置した場合は、荷重をかけた際に、
一緒に荷重計も回ります。



- ⑥ カプラを設置します。カプラを設置
する際は必ず④と⑤の説明された座金を
間に挟んでください

赤矢印の方向にねじ込んでください。

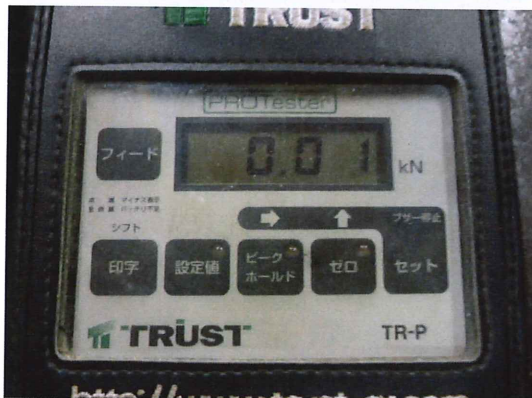
3, 操 作 手 順



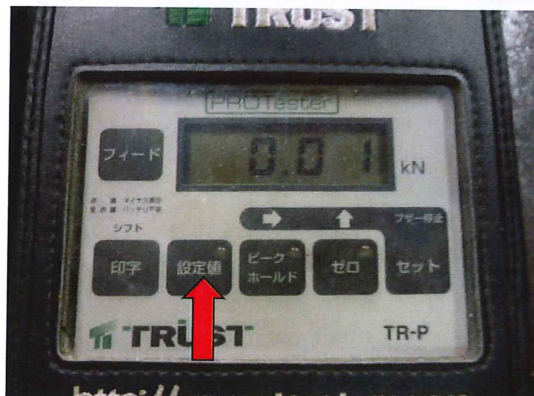
- ① デジタル表示機の入力コネクタに
センターホール型荷重計が
接続されているか確認します。



- ② 電源スイッチを「POWER ON」の位置に
合わせます。
※バックライト使用時は「LGT」
の位置に合わせます。

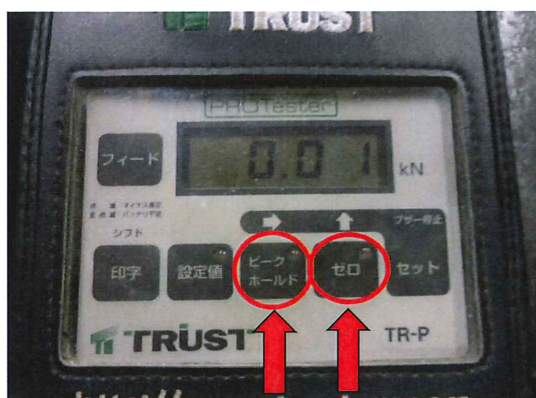


- ③ 電源を入れてから 15秒程度は
センターホール型荷重計認識中の為操作を
しないで下さい。
「----」と表示されたあと、「0.1」や「0.2」等の
数字に変化します。

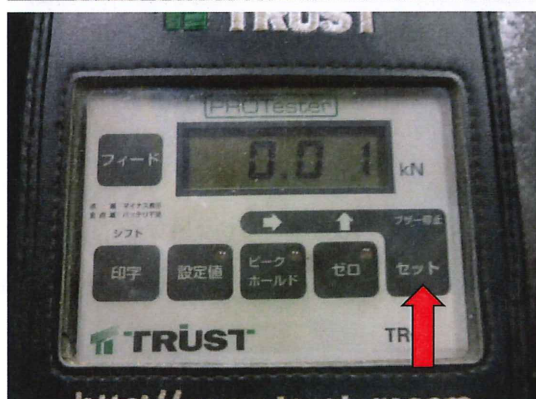


- ④ 測定値を設定する場合、「設定値」ボタンを
押します。

※ボタンは少し長めに押します。



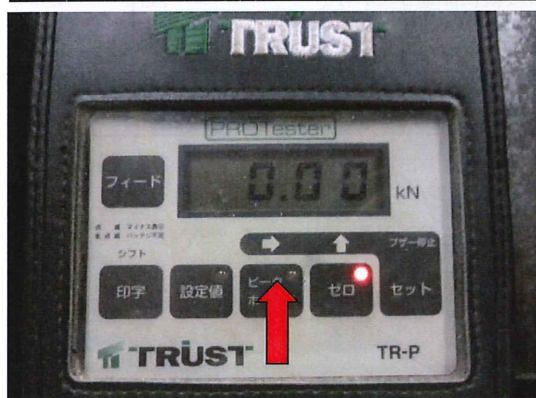
- ⑤ 点滅している数字に対して
ピークホールドボタンで右の移動し、
ゼロボタンで一つ上の数字に、
変わります。
(矢印を押しても数字は移動、
または繰り上がりません。)



- ⑥ 荷重設定入力後、[セット]ボタンを押し、
設定を完了します。



- ⑦ [ゼロ]ボタンを押し、ゼロ設定をします。
表示部に「----」表示後、通常表示に
戻ります。
[ゼロ]ボタンのランプが点灯します。



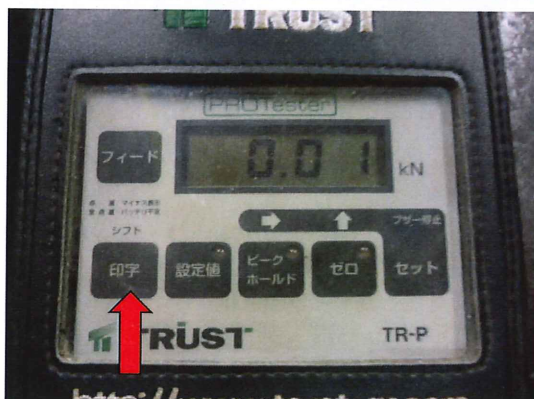
- ⑧ 最大値の表示を保持する場合は、
[ピークホールド]ボタンを押します。

[ピークホールド]ボタンが点灯します。



⑨ スパナでカプラを締め付けて測定します。

設定値に達するとアラームが鳴ります。



⑩ [印字]ボタンを押し、測定データをプリントします。

※「Pr」・「PE」が表示される場合や

印字が薄い場合は新しい電池に交換して下さい

【主なプリンターのエラーコード】

コード	症状	解決方法	
PE	プリンタエンド。記録紙がないか、バッテリー不足です	記録紙を交換してください。 記録紙に残がある場合は、 電池の交換を行ってください	
Pr	プリンタエラー。ロックレバーが上がっているか、バッテリー不足です	上蓋を開け、ロックレバーを確認してください	
IdEr	TEDS通信エラーです	機能「F-7」が「0000」になっているか、 接続に問題がないか確認してください	
Ad	センサケーブルが未接続です。配線を確認してください	ケーブルの接続に問題がないか、 接続を完了してから電源を入れているか、 再度確認してください	
※解決方法を試みても解消されない場合、故障が疑われます。 直ちに使用を中断し、ご連絡くださいますようお願い申し上げます。			

4, 注 意 事 項

- 1, 説明書をよく読み理解してから、ご使用ください。
- 2, 指定用途以外には、使用しないで下さい。 損害、怪我を招く恐れがあります。
- 3, ロードセルのコード部分は持たないでください。破損の原因となります。
- 4, 故障や煙が、出ている、変な臭いや異常な音がしたら、ただちに電源を遮断してください。
そのままで使用すると、火災、感電の原因になります。
- 5, 内部に異物や水を入れないで下さい。万一異物が入ったときは、ただちに電源を遮断して下さい。
そのままで使用すると、火災、感電の原因になります。
- 6, 引火性ガスまたは引火性蒸気がある場所で本器を使用しないで下さい。
- 7, 振動のはげしい所でお使いになる時はご注意下さい。
- 8, 運搬するときに落とすなど、強い衝撃を加えますと故障の原因となりますので十分注意して下さい。

『確認荷重について』

あと施工アンカー引張試験での引張荷重は、それぞれの現場、または、設計事務所に
よって多少異なる場合があります。

設定荷重値は設計事務所、または、現場監督に確認した後、確認試験を行って下さい。

本機は非破壊試験機です。母材の破壊やアンカーボルトの破断等のないよう、

加える荷重には十分注意してください。

TRをご使用になる前に必ずお読みください



- I TR-30/75/150をご使用になる前に
F-7の数字が「0000」か確認してください。
「0000」なら安全に試験ができます。

※表示が「0000」では違う場合は、
下に進んでください。



- II F-7を確認するときは、セットボタンの
長押しすると、表示画面にF-1が
表示されます。

※F-1は絶対に触らないでください。



- III F-1の表示から、
「ピークホールド」のボタンを6回
押して、表示画面にF-7にしてください

F-7が表示されたら、セットボタンを
押してください



- IV 「1100」の「11」を「0」にして、
「0000」にします。

「ピークホールド」ボタンで右に進んで、
「ゼロ」ボタンで「0」にします。



V 「1100」の「11」はTR荷重計と接続したとき、00の場合は、自動的に設定が読み込まれますが、「11」の場合は自動的に設定を読み込むことを禁止するため、TRを使用される場合は必ず「0000」にしなければなりません。



VI 「0000」に出来ましたら、セットボタンを押すと、F-7の画面に戻ります。

ゼロボタンを押すと、現在の荷重の表示画面に戻ります。



VII 一度電源を落として、起動してもらうと、表示は接続している荷重計の画面になります。

株式会社トラストの小型引張試験機 プロテスターTRを御使用になる時の注意事項

(専用カプラをご使用になる場合は、 使用例①へ)

(専用カプラをご使用にならない場合は、使用例②へ)

使用例 ① 母材より出ているボルトねじに、
プロテスターTR → 専用カプラを取付 → スパナで専用カプラを締付けます。

② 母材より出ているボルトねじに、
プロテスターTR → 座金 → ナットを取付 → スパナでナットを締付けます。

③ 母材に、めねじアンカーが施工されているとき
→ まず、はじめに全ねじボルトをねじ込み → 使用例①、または②へ。

注意事項 ① ミリネジはミリネジ専用カプラ、インチねじにはインチネジ専用カプラを使用してください



(※ カプラのサイズを間違えて使用した場合や、無理矢理異なるサイズのカプラを
ご使用になれますと、アンカーや試験機等が損傷する恐れがあります)

② 母材から出ているボルトねじに、塗装がされているか、確認してください。
(→ 塗装は削ります)

③ 溶融亜鉛めっき(ドブめっき)には、ドブ専用カプラ(有償オプション)の使用を推奨します

④ (1) 印字が薄くなってきたり、表示している数値が点滅した場合は、早めに
新しい乾電池と交換してください。

(2) 電池がなくなる迄ご使用になれますと、故障の原因となります。

⑤ 印刷用ロール紙は、付属している用紙以外は使用しないようお願い致します。

⑥ 本体打ち込み式アンカーの試験時、施工不良などの不具合があると雌ネジ用ボルトと
カプラが共回りを起こす可能性があります。

